

平成29年度 丹後広域振興局 運営目標

番号	運営目標	ページ	数値 目標
1 産業振興による丹後地域の活性化			
1	観光入込客数660万人、観光客一人当たり消費額6千円を目指し、海の京都DMOとの連携により、四季を通じて「ほんもの」を楽しめるブランド地域づくりを進めるなど、「海の京都」で芽吹いた丹後の新たな魅力を開花させます。 (29年度目標：一人あたり観光消費額4,000円(28年度実績 2,971円))	1	○
2	丹後産コシヒカリの特A評価を奪還するとともに、競争力のある「ほんまもん京ブランド」品目の農作物出荷額4億円を目指すなど、丹後の強みを生かした産品を増強します。	2	○
3	地域一体となって丹後の食の魅力の戦略的PRや地域ブランディングを進めます。	2	○
4	TPPの影響を受けない高級牛肉を産出する和牛子牛の生産拡大を推進します。	3	○
5	丹後王国「食のみやこ」を拠点として、丹後の特色を生かした新たな商品の開発や食関連ビジネスを創出します。	3	○
6	新たな就農者や漁業就業者を確保するなど、担い手の確保育成や農林水産業の生産基盤を整備します。	4	○
7	平成30年度に野生鳥獣による農産物被害額をほぼ半減(50百万円)します。(平成25年度基準90百万円)	5	○
8	「丹後半島一周・京都の新海遊ルート」の完成等に向けた整備を推進します。	5	○
9	「丹後・知恵のものづくりパーク」における人材育成と施設の有効活用を推進するとともに、中小企業の経営革新等に向けた取り組みを支援します。	6	○
10	「丹後ちりめん創業300年」を見据え、丹後織物・機械金属のブランド力の向上とビジネスモデルを推進します。	6	○
11	U・Iターン等を推進し、丹後地域の産業を担う人材の確保・育成を図ります。	7	○
2 環境と文化の伝承			
12	世界文化遺産をめざす天橋立や山陰海岸ジオパークなど、丹後ならではの自然環境の保全に努め、学術・観光資源として活用し、その魅力を発信します。	8	○
13	丹後地域の森林を守り育てる取組を推進します。	8	○
3 府民生活の安心・安全の確保			

番号	運営目標	ページ	数値目標
14	地域の防災力を高めるため、人材の養成や避難訓練等を通じて、災害に強い丹後づくりに取り組みます。	9	○
15	府立医科大学附属北部医療センターを「北京都安心医療拠点」とした丹後地域の病院や診療所との機能分化、連携体制の強化を図ります。	10	○
16	「たんご健康長寿日本一」を推進します	10	○
17	高齢者が安心して地域で生活できる地域包括ケア体制の充実・強化を図ります。	11	○
18	地域ぐるみの少子化対策を推進し、安心して子育てができる地域づくりを進めます。	11	○
19	誰もが自分らしく生きられる共生社会づくりを推進します。	12	○
20	鳥インフルエンザ、口蹄疫等の海外悪性伝染病の発生ゼロを目指します。	12	○
21	Xバンドレーダーの配置に関して、地域住民の安心・安全の確保に向けて関係機関と連携して課題の解決に取り組みます。	12	×
4 府民がいきいきと暮らせる地域作り			
22	若者の丹後地域への愛着心を醸成する「TOMORROW丹後プロジェクト」の推進により、丹後が誇る文化を次代へつなぎます。	13	○
23	命の里の再生とふるさと保全・農村再生活動など、地域活動団体をはじめとする住民との協働体制を推進します。	13	○
24	市町や関係機関と連携した地域住民の活動支援等により、より利用しやすい公共交通ネットワークの実現をめざすとともに丹鉄年間利用者数200万人を目指します。	14	○

運営目標数	24
うち数値目標	23